

| | | | | | |
|-------|----------------|------|-----|-------|------|
| 授業科目 | 嚥下障害Ⅱ（訓練と画像診断） | | | | |
| 担当者 | 柴本勇 | | | | |
| 専攻(科) | 言語聴覚専攻科 | 学 年 | 1 年 | 総単位数 | 1 単位 |
| | | 開講時期 | 後期 | 選択・必修 | 必修 |

■ 授業目的・内容

本講義では、摂食嚥下障害に対する医学的治療とリハビリテーションについて学びます。評価結果の統合と分析を通じて訓練計画立案について理解します。訓練理論と具体的手技を演習を含めて学びます。医師が行う、投薬や外科的治療について理解します。栄養ケアマネジメントや嚥下食について理解します。リハビリテーションとリスク管理について理解します。

■ 到達目標

1. 評価結果を統合し分析することができる。
2. 評価結果から、目標設定をし訓練計画を立案できる。
3. 基礎的嚥下訓練の方法と負荷量を説明できる。
4. 摂食訓練の具体的方法とリスク管理を説明できる。
5. 医師が行う外科的治療等を説明できる。

■ 授業計画

- 第1回 摂食嚥下障害の評価結果の統合と分析
- 第2回 摂食嚥下訓練の目標設定と訓練計画
- 第3回 摂食嚥下リハビリテーション
- 第4回 基礎的嚥下訓練理論（負荷量の決定等）
- 第5回 基礎的嚥下訓練の実際（演習）①
- 第6回 基礎的嚥下訓練の実際（演習）②
- 第7回 摂食訓練の訓練理論（運動学習理論等）
- 第8回 摂食訓練の実際（演習）①
- 第9回 摂食訓練の実際（演習）②
- 第10回 摂食嚥下訓練時の姿勢調整と食事介助（演習）
- 第11回 嚥下調整食・とろみ調整食品（演習）
- 第12回 摂食嚥下障害の栄養管理
- 第13回 気管切開患者に対する摂食嚥下リハビリテーション
- 第14回 摂食嚥下障害の外科的治療
- 第15回 摂食嚥下リハビリテーションとリスク管理

■ 評価方法

小テスト10%、定期試験40%、実技試験50%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

授業内で小テストを実施し、理解度を確認しながら講義を進めます。演習を行いながら具体的手技を理解します。
一部反転授業を実施します。あらかじめ予習し授業で説明をします。

■ 教科書

書 名：嚥下障害ポケットマニュアル 第4版
著者名：聖隷嚥下チーム
出版社：医歯薬出版株式会社

■ 参考図書

■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。